

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらとまなぶ らいふ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業員評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や配慮が必要なケースについて理解したうえで、ニーズにあった支援に取り組んでいる。	朝礼時以外にも、日頃から職員同士で相談したり、情報の共有を行うことで、連携した支援につなげている。	引き続き情報の共有や連携については意識をしつつ、研修などを通じて職員の質を高めていくことができるように取り組んでいきます。
2	子どもたちが安心して、楽しく過ごせる環境ができています。	子どもたちが楽しいと思って過ごせるよう、職員一人ひとりがしっかりと向き合い、関係性を築くことで安心して楽しく利用ができる環境につながっている。	一人ひとりのニーズに応えられるように、定期的に課題や療育支援の見直しを図っていきます。
3	ご家庭からの相談事があった際には、迅速な対応ができるような環境づくりをしている。	気になることや相談事などは、その場で対応できることについてはすぐに対応し、持ち帰ったほうがより良い支援につながる時は、その場では解決せずに話し合いなどで機会を設けています。	相談支援員さんがついている場合は、担当者会議を開いてもらうなどの機会を作ってもらえるよう働きかけを行います。セルフプランの方は保護者様と他事業所などとも話し合う機会を設けてサポートできるように働きかけを行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもの関わりが少ない。	行政などが主催となって開催されるイベントや、地域の学校などで開かれたイベントなどには参加はしていますが、地域の子どものたちと遊ぶ機会などは少ないと思っています。地域の学校などとの連携の難しさも現状としてはあります。	同じ課題を抱える他の事業所などとの連携を深め、合同でイベントなどを開催したり、地域の子どものたちと関わる機会を作りたいと思っています。
2	活動スペースがあまり広くない。	ワンフロアで見通しも良いが、トイレ以外は一つの部屋となっているので職員や子どもたちの人数によっては手狭に感じることもあります。	勉強の時間やイベントなどの時間など、時間で活動を区切ることで活動スペースの確保をしています。不要なものは事務所や倉庫などに収納するなどその都度対応させていただきます。
3	活動プログラムが固定化されていないか。	反復することで学びが深まることもありますが、固定化してしまう部分もあるかと思っています。	反復学習の部分も大切にしつつ、新しい体験や経験を養えるイベントなどの企画を検討していきます。お子さんが「これしてみたい!」という意見も参考にして、活動プログラムの見直しもしていきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
きらとまなぶ らいふ		R7年 5月 2日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・活動内容にあわせ、不要なものを事務所に片付けるなど活動しやすい環境を整えている。	・スペースが少し狭いように感じる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・利用人数によっては職員数が少なく感じることもあるが、配置基準は満たして運営をしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・入り口やトイレ前など一段差があるところもあるが、車いすなどが通る際につけ外しのできるスロープなども用意している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	・パーティションなどを活用し、簡易的ではあるが個室のような環境を整えられる。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・保護者の評価をもとに、改善できる点がないか合同朝礼などの際に話す機会を設けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・合同の朝礼時などに話す機会を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・相談支援の方に評価をいただくこともある。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・ニーズの変化に対応できるよう、必要に応じて支援の仕方についても見直しをしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1		・業務日報などで個別の活動などは把握できるようにしている。	・分からない。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	1			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				・分からない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	・地域のこどもと交流できる機会は少ないが、今後は、他事業所などとの交流も検討している。	・分からない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・送迎時や連絡帳を通じ、気になっていることやこうしてほしいなどの要望があれば、その都度、相談ができるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・法人から研修の案内などをお渡ししている。	・分からない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・地域の方を招いての行事はできていないが、地域で開かれるイベントなどには参加をして交流ができるようにしている。	・分からない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・服薬やてんかんなどがあるお子さんは事前に確認をしている。発作時などの対応については再度、確認と共有を進めていく。	・分からない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・契約の際に説明をし、了承を得たうえで、必要な場合には児童発達支援計画にも記載をしている。	・分からないがされていると思う。